

第1回ボランティアセンター運営委員会の会議報告について

表記会議を開催しましたので、ご報告します。

- 1 日 時 平成27年5月25日(月) 10時00分～11時30分
- 2 場 所 鶴見区社会福祉協議会5階 団体交流室
- 3 出席者 三谷委員長、星野副委員長、芳賀委員、青木委員、渡辺委員、
須佐委員、山本委員、木村委員
事務局 伊藤事務局長、武田事務局次長、
担当職員(内藤・臼井・清水)
- 4 内容

開催に先立ち

三谷会長あいさつ

新委員着任により芳賀委員、木村委員よりあいさつ

【議 事】

1. 平成27年度鶴見ふれあい善意銀行の審査について

資料1に基づき事務局より説明。また、2団体がプレゼンテーションの対象となったため審査を行った。

結果：以下の質疑をふまえ、承認

資料1

平成27年度 鶴見ふれあい善意銀行 助成状況(予算対比)

区分	予算		区分別申請		金額	金額	区分別助成(案)		金額	件数	金額	金額	金額	金額
	区分別金額	会員特典	件数	金額			金額	金額						
A-1	3,210,000		4	1,000,000	3,340,000	▲ 130,000	4	1,000,000	3,340,000				30,000	1,030,000
A-2			9	1,690,000			9	1,690,000					70,000	1,760,000
A-3			3	200,000			3	200,000					20,000	220,000
A-4			3	150,000			3	150,000					30,000	180,000
A-5			6	300,000			6	300,000					60,000	360,000
B-1	1,800,000	800,000	2	400,000	1,540,000	260,000	2	400,000	1,540,000				20,000	420,000
B-2			3	240,000			3	240,000					20,000	260,000
B-3			10	460,000			10	460,000					40,000	500,000
B-4			10	440,000			10	440,000					50,000	490,000
C-1	900,000		10	480,000	980,000	▲ 80,000	10	480,000	980,000				80,000	560,000
C-2			16	500,000			16	500,000					70,000	570,000
D	240,000		12	240,000	240,000	0	12	240,000	240,000			50,000	290,000	
E	200,000		1	58,320	58,320	141,680	1	58,320	58,320			0	58,320	
F-1	150,000		0	0	0	150,000	0	0	0				0	0
F-2			0	0			0	0					0	0
G	700,000		13	650,000	650,000	50,000	13	650,000	650,000			130,000	780,000	
合計	7,200,000	800,000	102	6,808,320	6,808,320	391,680	102	6,808,320	6,808,320			670,000	7,478,320	

【G区分との重複申請内訳区分】

区分	件数	金額	区分計
B-3	2	60,000	150,000
B-4	3	90,000	
C-2	2	30,000	30,000
合計	7	180,000	180,000

会員種別	件数
第5種会員	37
第6種会員	37
第7種会員	1
非会員	27
計	102

プレゼンテーション1「鶴の仲間」

資料に基づき吉原氏より活動内容、運営状況、事業計画の説明

Q1. 組織構成はどのようになっているか？

A1. 理事1名、ドライバーとコーディネーター兼任で1名の計2名となっている。その他に、ドライバーがいる。

Q2. 1日の件数はどれくらいか？

A2. 多い時は、35件、少なくとも15～20件である。夕方に依頼が集中する傾向がある。

Q3. 申し込みはどのように行うのか？

A3. 直接申し込みをしてもらった後に、訪問し登録となる。

Q4. ドライバーは、みんなボランティアになるのか？

A4. ドライバーは全員ボランティアである。

Q5. 車はどこに保管しているのか？

A5. 事務所に2台保管して、その他はボランティアの自宅駐車場に保管している。

Q6. 繰越金が昨年度よりも30万円増えているのはなぜか？

A6. 利用者数が昨年度よりも増え、件数も増えたため。現在車が古くなっていることもあり、車購入のための積立金ができればと考えている。

プレゼンテーション2「たんぼぼ」

資料に基づき青島氏より活動内容、運営状況、事業計画の説明

Q1. 会の財政状況が厳しいというのは、家賃負担が大きいかからなのか？

A1. 家賃負担がかなり大きくなっている。また利用料を、家庭の状況によっては徴収できない場合もあるため、予定通りの収入にならない場合もある。

Q2. 開館時間は、何時になるのか？

A2. 10時30分～17時の好きな時間で利用が可能である。

Q3. 対象はどのような方なのか？

A3. 保育園児～大学生まで幅広い方が利用している。

Q4. 拠点の利用者は、鶴見区内在住の方となるのか？

A4. 区内の子どもだけでなく、近い区などからも利用する方はいる。活動は区内で行っている。

Q5. 申請書の家賃や光熱費が90%となっているのはなぜか？

A5. フリースペース以外の事業も実施しているため、事務局と相談した結果90%という数字で算出している。

【委員より意見】

90%という数字は根拠が分かりづらい為、次年度以降の記入方法については、検討が必要である。

→【事務局】今後の検討課題としていく。

2. 平成26年度鶴見区社会福祉協議会事業報告（ボランティアセンター部分抜粋）

資料2に基づき事務局より説明

結果：以下の質疑をふまえ承認

資料2

平成26年度 区社協ボランティア関係事業報告書

(1) 単発依頼(送迎活動を含む)

区分	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数
児童	52	45	6	0	1	105	88
障害	51	26	13	4	8	40	305
高齢 (おおむね 60歳以上)	5	5	2	1	0	33	27
外国人	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	9	6	2	0	1	11	64
その他	5	2	1	1	1	7	6
合計	122	84	24	6	11	196	490

(2) 継続依頼(送迎活動を含む)

区分	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数
児童	7	3	4	0	0	67	25
障害	24	4	18	1	1	17	39
高齢 (おおむね 60歳以上)	30	2	25	0	0	20	72
外国人	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	2	1	1	0	0	4	9
その他	3	1	1	1	0	2	14
合計	66	11	49	2	1	110	159

(3) ボランティア登録者

①新規登録者数(平成26年度分)

区分	件数・人数
グループ(団体数)	6
グループ(会員数)A	56
個人(男性)	38
個人(女性)	67
個人(男女合計)B	105
合計 A+B	161

②新規登録者数(平成25年度分)

区分	件数・人数
グループ(団体数)	4
グループ(会員数)A	25
個人(男性)	44
個人(女性)	87
個人(男女合計)B	131
合計 A+B	156

①新規登録者(平成26年度)

福祉	話相手	28名
	一時保育・遊び相手	21名
	外出付き添い	18名
	送迎	6名
	介助	5名
	家事援助	7名
	生活援助	4名
	施設での手伝い	21名
	技術提供(福祉系)	6名
	その他	環境・まちづくり・災害
イベント手伝い		22名
技術提供(その他)		26名
その他		5名
決めていない	38名	

②累計登録者(～平成26年度末)

福祉	話相手	107名
	一時保育・遊び相手	62名
	外出付き添い	63名
	送迎	23名
	介助	28名
	家事援助	36名
	生活援助	22名
	施設での手伝い	87名
	技術提供(福祉系)	39名
	その他	環境・まちづくり・災害
イベント手伝い		113名
技術提供(その他)		121名
その他		21名
決めていない	91名	

【26年度 ボランティアセンター事業の振り返り】

①ボランティア活動者の増強
 区民の、ボランティアへの関心を高めるため、「總持寺で掃除」や「サントラボランティア」の他、「花道ボランティア」「ウォーキングツアー」などの事業を増加した。また活動者に対しては、フォローの意味も含めた交流会を定期的に企画した。

②ボランティアコーディネータースキルアップ
 コーディネーターの知識や専門性を高めるため、ガイドボランティアや介護保険など、他団体が開催する研修会等に積極的に参加した。

Q1. 現在子育てサポートシステムは実施していないのか？

A1. 子育てサポートシステムは平成24年度に移管していてわっくんひろばが運営主体となっている。

Q2. つるみサマーフレンドで実施したアフリカンダンスの申し込みが少なかったのは、何か原因があるのか。

A2. サマーフレンドには様々コースがある。また利用者が希望する内容も変化があるため、前年度好評でも今年度好評とは限らないため。

3. 善意銀行の預託・配分状況報告について

資料3に基づき事務局より説明

結果：以下の質疑をふまえ、承認

資料3

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 善意銀行 預託配分状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)						
1 預託金額						
	4月～8月		9月～3月		合計	
受付区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	31	398,207	74	2,444,294	105	2,842,501
障害福祉	0	0	0	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0
特別配分	0	0	0	0	0	0
寄付小計	31	398,207	74	2,444,294	105	2,842,501
2 26年度3月末通帳残高						
25年度末通帳残高		14,420,760		0		14,420,760
前年度未払金(送迎サービス)		-713,009		0		-713,009
車イス購入				-22,000		-22,000
平成26年度預託金額		398,207		2,444,294		2,842,501
利息		1,466		1,489		2,955
①収入合計		13,709,217		2,423,783		16,531,207
2 平成26年度 配分金額						
区社協事業への配分						
	鶴見ふれあい善意銀行				2,632,000	
	送迎サービス				364,958	
②申請配分合計					2,996,958	
①収入合計－②申請配分小計＝						
					13,534,249	
(平成27年3月31日現在)						
そらまめ指定寄付						
前年度繰越金 4,983,498						
配分金額						
ふれあい運動会 519,816						
鶴見ふれあい善意銀行(B区分・障害) 1,000,000						
1,519,816						
前年度繰越金－配分金額＝						
					3,463,682	

Q1.物品の寄付はどのようなものが多いか？

A1.概ねお菓子の寄付が多い。

Q2.少額でも寄付を募る工夫をしていく必要があるのではないかと？

A2.昨年募金箱を作成したため、区社協の会員に対して協力の依頼を実施するなど工夫をしている。

Q3.公的補助が今後増える見込みはあるか？

A3.補助が増える見込みはないため、寄付を増やすための工夫を今後も検討する必要がある。

4. その他

- ・エコキャップの回収について

今までエコキャップ推進協会を通じてワクチン代を寄付してきたが、別の目的で活用されていたため、今後の寄付はエコメイト(回収業者)を通じてキャップの貯金箱推進委員会へ寄付していくことの報告。

- ・今後の開催予定について

第2回日程：平成27年10月5日(月) 10:00～11:30

場所：鶴見区福祉保健活動拠点 団体交流室

三谷委員長より閉会のあいさつ

以上

担当：内藤 電話：504-5619